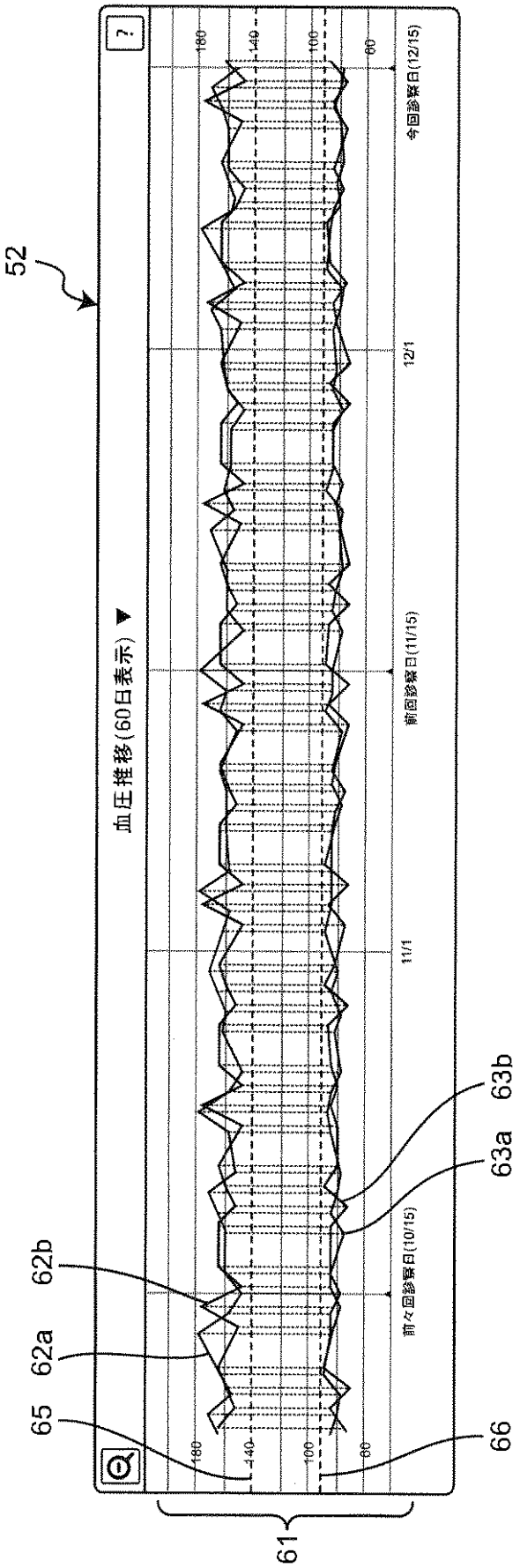
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年4月16日(2015.4.16)

【公開番号】特開2013-192609(P2013-192609A)
【公開日】平成25年9月30日(2013.9.30)
【年通号数】公開・登録公報2013-053
【出願番号】特願2012-60280(P2012-60280)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/022　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/02　３３８Ａ
Ａ６１Ｂ　5/02　３３８Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成27年2月25日(2015.2.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６７】
同様に、制御部３１０は、朝、晩それぞれについて、前々回の診察から前回の診察までの期間（第２の期間としての前回の診察期間）における日ごとの上記代表値と測定日数とを取得する。そして、制御部３１０は、第２の平均値算出部として働いて、取得した上記代表値と上記測定日数とに基づいて、前回の診察期間における上記代表値を平均した第２の平均値としての前回の診察の平均値を算出する。ここで、上記前回の診察の平均値は、血圧値についての平均血圧値と、脈拍数についての平均脈拍数とを含む。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８１】
また、上記朝の平均血圧グラフ表示欄７１には、前回の診察における朝の平均血圧値について、上がＳＢＰ、下がＤＢＰとなるように示した浮動棒グラフ７１ａがＳＢＰおよびＤＢＰの値とともに表示されている。また、前回の診察における晩の平均血圧値について、上がＳＢＰ、下がＤＢＰとなるように示した浮動棒グラフ７２ａがＳＢＰおよびＤＢＰの値とともに表示されている。上記浮動棒グラフ７１ａ，７２ａは、浮動棒グラフ７１ｂ，７２ｂの左側に並べて表示されている。これにより、上記医師は、上記表示画面上で上記今回の診察の平均血圧値と前回の診察の平均血圧値とを容易に比較できて、被験者の血圧状態をより容易かつ確実に把握できる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図９
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図９】


52
血圧推移(60日表示)
?
180
140
100
60
今回診察日(12/15)
12/1
前回診察日(11/15)
11/1
前々回診察日(10/15)
62b
62a
65
63b
63a
66
61